

番号	11	津留天満宮 鳥居		
所在地	佐賀市鍋島町大字蛸久 8 7 2 津留地区			
災害別	昭和 2 8 年（ 1 9 5 3 ） 水害（ 2 8 水）			
目的別	遺 構		建立年	平成 2 1 年
特記事項	時の経過により、埋没していた跡が薄れつつある。			



鍋島町蛸久の津留地区にある津留天満宮の鳥居。昭和 2 8 年 6 月の水害の痕跡が残っている。地区の人の話によれば、元々の天満宮はここより少し離れた場所にあったが、2 8 年の水害で流され、鳥居だけが畑の中に半埋没の状態で残されていたとのこと。平成になり天皇即位 2 0 周年年記念として社殿再建の際、埋没していた鳥居も新社殿に移設されたということである。矢印で示すように鳥居の根元から 7 0 センチほど地中であつたため明らかに色が違っている。



国土地理院電子国土 Web

「昭和 2 8 年（ 1 9 5 3 ）の大水害により、津留天満宮の社殿は流失したため、鳥居だけが 1 m 位の土砂に埋まり、昭和 2 8 年の水害の面影を残していた。そこで、津留地区民の総意によって鎮西三大天満宮と称えられる蛸

久天満宮の御分霊をいただき、念願の御社が天皇陛下御在位20年の記念事業として、また区民の浄財の寄付によって、平成21年（2009）3月に成導寺八幡宮の東に建立された。春祭や秋祭を斎行し、津留地区の繁栄を祈念している。」（佐賀市 HP「佐賀の歴史・文化お宝帳 出典：江副千秋」より）

（鳥居）明治12年9月9日 世話人（不明）

（祠）天皇陛下御在位20年記念事業 津留天満宮新築御奉賛御芳名（略） 平成21年3月吉日 土地提供（略）

